

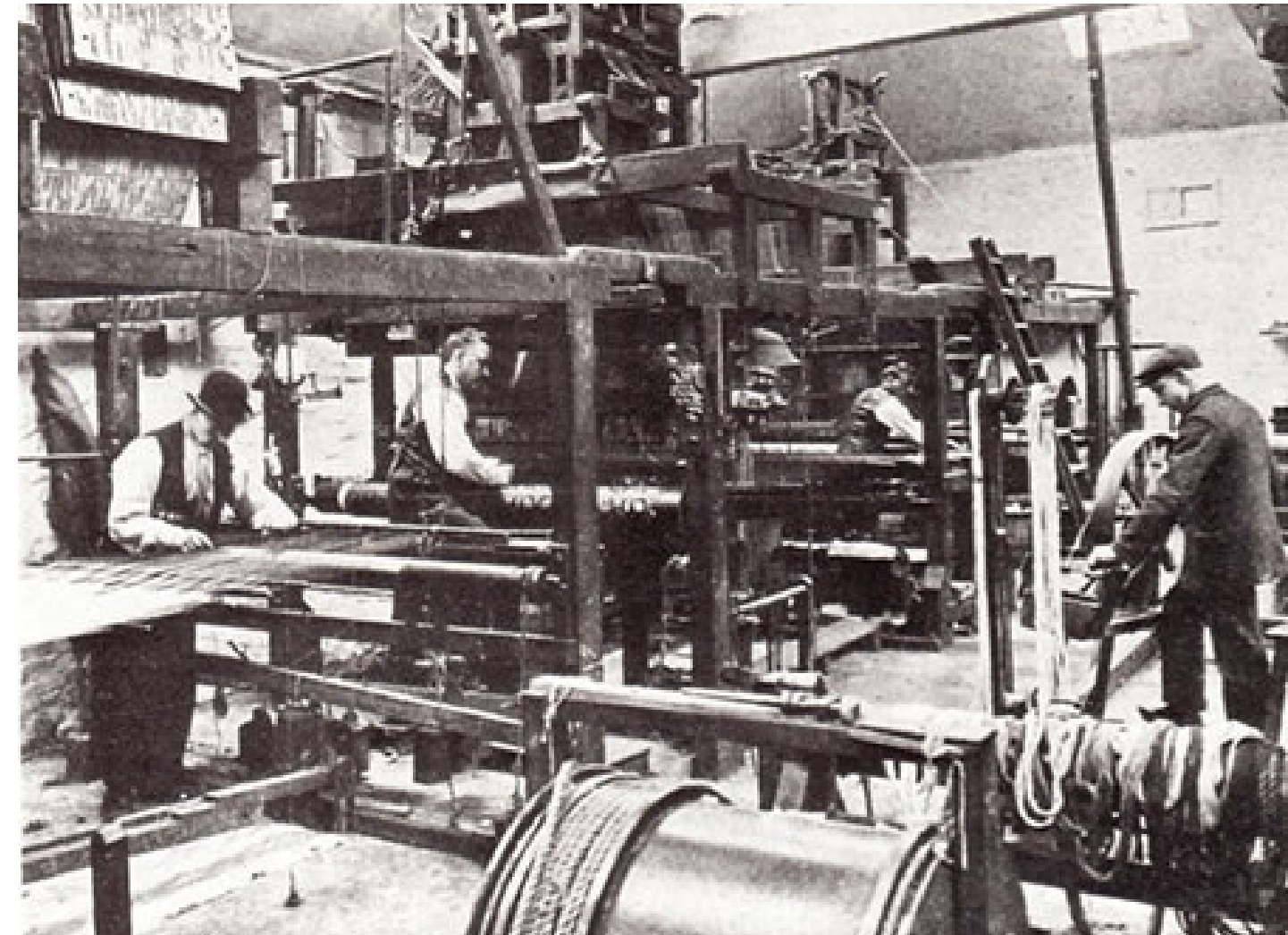
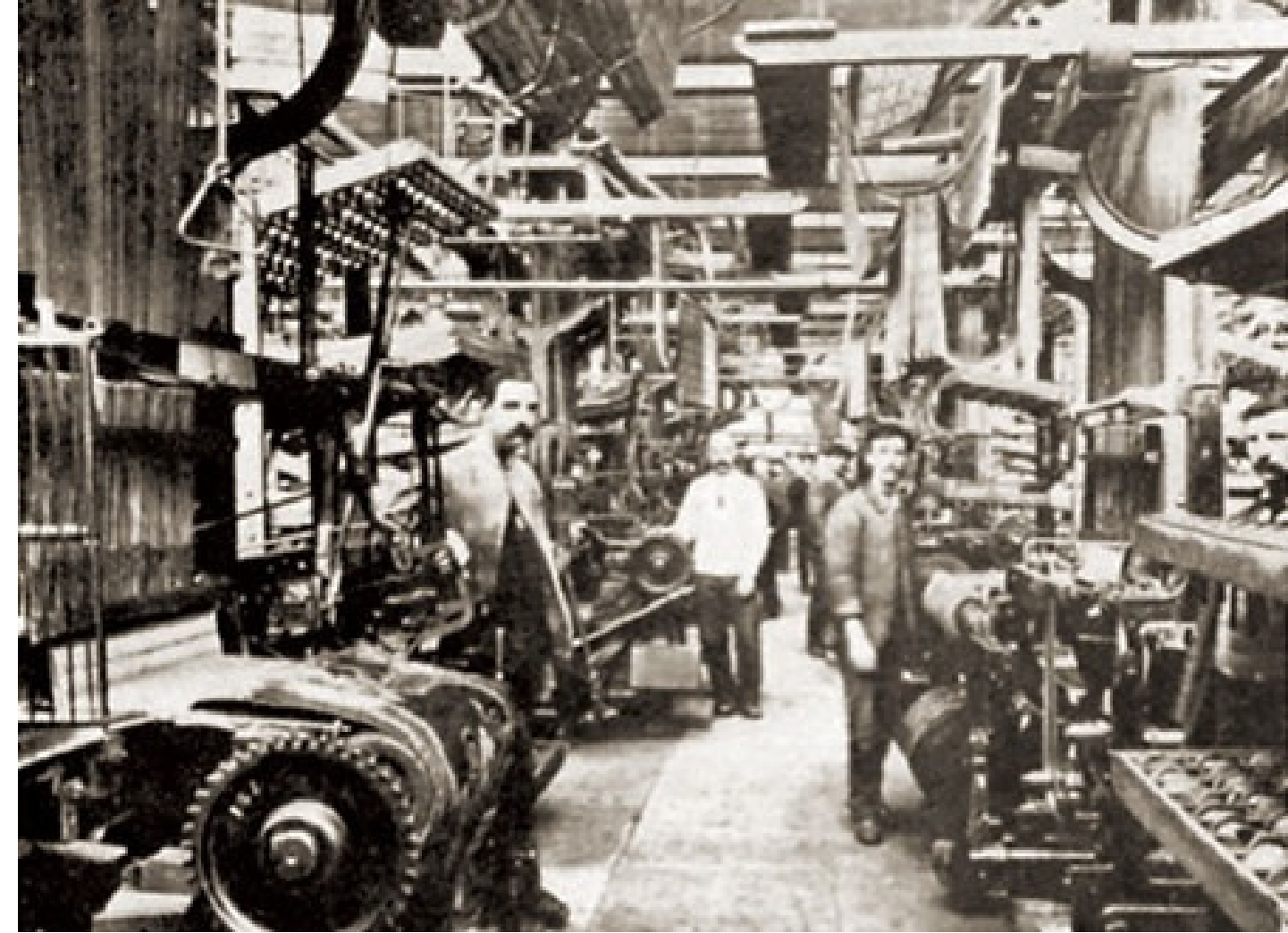
Wilton carpets History

ウィルトンカーペットは
18世紀初頭にイギリスのウィルトシャー州
ウィルトンで生まれた世界で最も古い
機械織りのカーペットの一つです。

日本では1913年（大正2年）に
村田織物工場と飯田高島屋との共同事業として
住江織物合資会社（現 住江織物株式会社）が設立され
6台の織機により製造が開始されたのが
日本のウィルトンカーペットの製造
及びカーペット工業生産のはじまりだといわれています。

しかしながら 量産性に優れるタフテッドカーペットの台頭により
1979年（昭和54年）をピークに生産量は減少し
令和を迎えた現在では 国内全体を見渡しても
十数台の織機が残るのみとなりました。

ウィルトンカーペットは量産化の進んだ現代において昔ながらの
製法を守る非常に希少性の高いカーペットと言えます。



ウィルトンカーペット（織じゅうたん）

古代から人間生活と深く関わりあってきた織物。

なぜ織物がこんなにも私たちの生活に密着してきたのでしょうか？

それは何よりも天然素材のもつ温かみとやさしさそして優れた機能性があるからです。

こうした織物の良さを十分に持つカーペットが織じゅうたんなのです。

織じゅうたんはパイルのタテ糸とヨコ糸が交錯する織物なのでパイル密度が細かく厚手のしっかりした織り上がりができるため耐久性や弾力性に優れ踏みごこちもしっかりしています。

また小ロットで生産できるという強みがあります。

さらに織じゅうたんのパイル糸・裏地とともに主に自然素材で作られていますので敷き替え時の廃棄処理が容易で環境への問題が極めて少ないという点にあります。

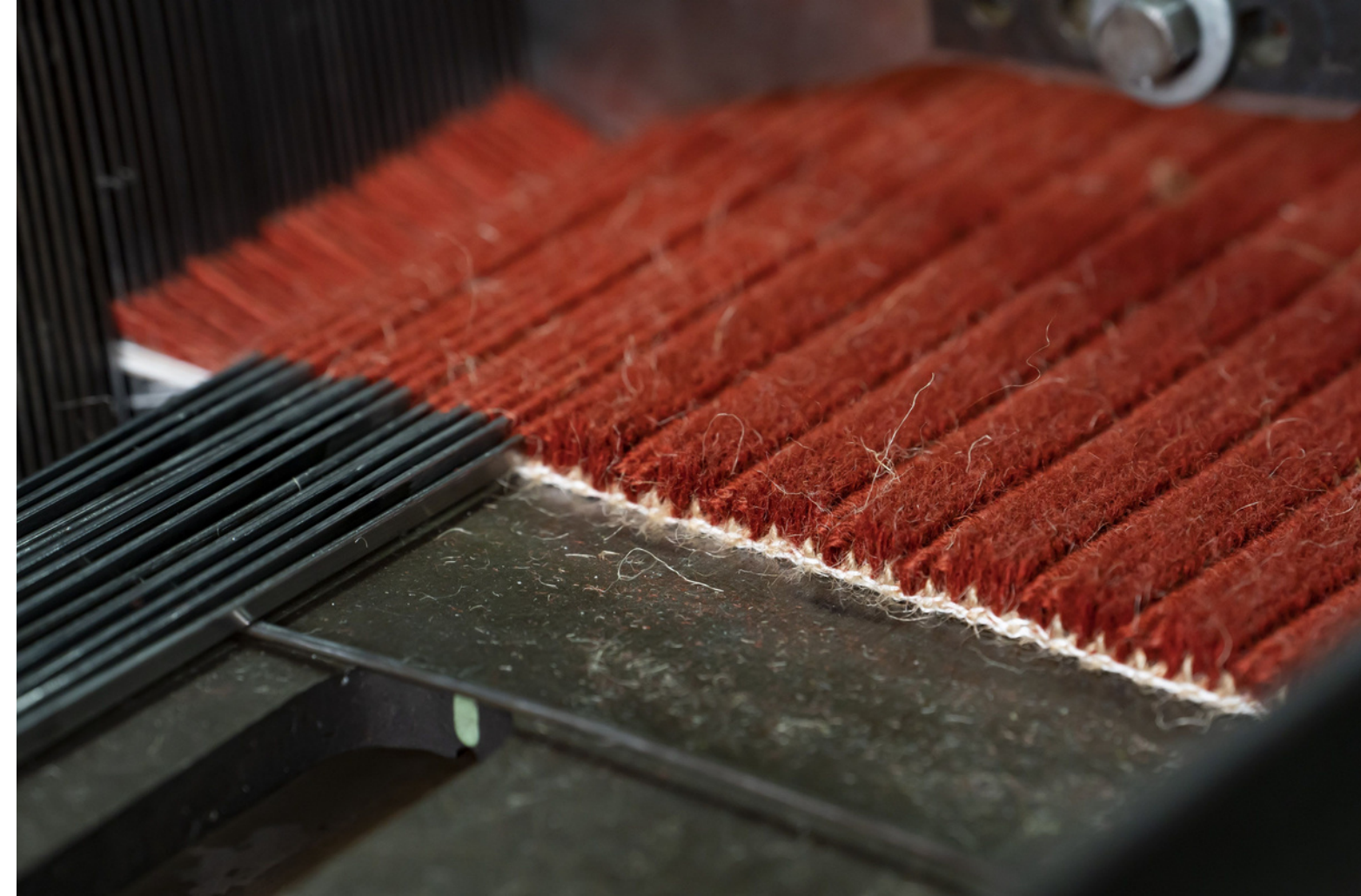
いまや宿泊のみでなく祝祭の場として多くの人が集うシティーホテル。

特にその設備や調度には豪華さや格調高さが求められます。

そのためにロビー・宴会場・レストラン・会議室などといった場の床材には織じゅうたんが敷かれています。

住宅でも羊毛で織られた床敷物として快適な住空間を創りだしてくれます。

また羊毛の持つ剛直性は耐摩耗性に優れた耐久消費材として利点を備えインテリア空間の床材には織じゅうたんが最適で永くご愛用頂けるものです。



The WILTON®

かつて「緞通」「織じゅうたん」工業の一大集積地であった大阪・堺。
村上敷物はそこに本社を構えカーペットを製造しています。

創業以来 高級ホテル・公共建築・鉄道・自動車などから店舗・個人の住宅まで 品質を極める目を持った施主・建築会社・依頼主の方々からカーペットのご用命をいただきその高度な要求に応える中で 敷物製造の技術やクオリティを磨いてきました。

こうしたモノづくりの経験を活かして 一般ユーザーの皆様にもウィルトン織りの素晴らしい使い心地を味わっていただきたいと立ち上げたブランドが「The wilton (ザ ウィルトン)」です。

物余りの時代にあっても 大量生産品ではなく 昔から続く ウィルトン織の良さが見直される日が来ると信じ 私たちは 今も昔も変わらず ウィルトン織にこだわって織機を動かし続けています。

ウィルトン織りカーペットは 国会議事堂の赤絨毯 帝国ホテルやホテルオークラ等 一流ホテルのロビー 新幹線のグリーン車のカーペット あるいは 高級ブランドの自動車の敷物など 聞けば誰もが知っている場所で使われてきました。

足触りが柔らかく 1年を通して快適な空間を創り 機能性・品質・美しさ・耐久性などにおいて高い評価を受けているからです。



ハンドタフトカーペット

ハンドタフトカーペットはアメリカで生まれたカーペットの製法です。
ハンド・タフトは Hooked Rug（フックドラグ）や手刺し緞通とも呼ばれています。

中世にフランスやイギリスで作られたニードルポイント刺繍をまねて 19世紀後半 アメリカやカナダの移民が麻布などを基布に布の裂地や糸をフック（鉤針）を使ってパイルを作り インテリアとしてラグを作った物が始まりとされています。

その後 アメリカで「パンチ」と呼ばれるフックドラグ製造機が発明され 日本には大正10年頃 神戸の赤尾商店 赤尾善次郎がアメリカ及びカナダより技法を学び パンチングマシンを持ち帰り 高知県下の下川某に作らせたのが始まりといわれ 昭和2年頃より神戸を中心に生産され始めました。

当時のものは粗い織り目の黄麻布 または綿布を基布として布地などを細長く裁断したモノをパイル糸に（後に和紡糸・特紡糸がこれに代わる）

手刺しで通称『ツチノコ』といわれた）とし 後年 簡単な電動式フックガンといわれる 手動の刺繍機で植えつける方法で生産されていました。

ハンドメイドのために繊細な模様出しも可能であり その後昭和24年から住江織物などが生産をはじめ 米国バーベン社との取引が始まって以来 主要な輸出品としてハンタフの名称で好評を博すとともに その後 昭和29年にかけて最盛期を迎えました。

ピストル型のフック機にパイル糸を入れ1パイルごとに 基布にパイル糸を刺して作っていくカーペットで 1パイルずつ刺していくので色・柄・パイルの密度を自在に決めることができます。



Carpet/Grand Order

別注カーペットブランド Carpet/Grand Order は最高級のクオリティを目指したハンドタフト製法。

そのクオリティは上質のウールを贅沢に使用し 糸を基布に最大限打ち込んだ最高級品に仕上げております。

品質見本から選びオーダーだけの 特別な色やサイズをカスタマイズができるサービスです。

南大阪の堺にあるハンドタフトカーペット製造工場で熟練の職人たちが伝統的かつ最高品質のカーペットを製作しています。

トレンドに左右されないスタンダードなデザインで 永年にわたりご愛用いただける品質の製品です。

AKIGAMI projectとカーペットの品質

モノとしての品質のよいカーペットと考えた時 パイルの密度（目付）だといえます。

糸が贅沢に使われることにより ひと目でわかる高級感・床材としての耐久性（丈夫で長持ち）手触りや肌触りそして踏み心地（底つき感）が抜群によく上品さが顕著になります。

メイドトゥオーダー

敷物の美意識に自分の好みと感性を掛け合わせて 世界にたったひとつのカーペットを作る。

特別な空間で一流プロユーザーとの対話を楽しみながらのメイドトゥオーダーは 究極のお買い物体験です。





今回制作を続けてきたニューアルバム（見本帳）がお渡しできるくらいの完成度になりましたのでお届けいたします。
ご提案いただけましたら幸いです。

The Wilton（在庫品）

ウィルトン織カーペット運搬・搬入・施工がしやすい1.80mロール幅です。

Carpet/Grand Order（受注生産品）

「PRIMERA」「HOTEL LIFE」「STANDARD」別注ハンドタフトカーペット3つのクオリティ。

Carpet/Wilton Order（受注生産品）

「The Wilton」「COOLSTYLE」別注ウィルトン織カーペット2つのブランド。



ウールカーペットが敷き込まれた家で育ちました。

壁紙の職人からインテリアの世界に足を踏み入れた頃 母が家の床でスリップ 当時92歳だった祖母が家の階段から転落と家庭内事故にあいました。
それをきっかけに 安全性のことを考え 様々な床に携わり 織じゅうたん製造会社に出会いました。

製造会社から カーペットのことを学び 2011年から始め10年の歳月を経て 本当に良い品質の日本製ブランド製品をつくるのに取り組んできました。

また 製品だけでなく 縫製加工・運送・施工・メンテナンスなど 確かな情報と豊富な専門知識を駆使して カーペットのスペシャリストである 才能豊かな チームをご利用できるよう 協力会社や職人と関係を育みながら実践を重ねてきました。

大阪南部・堺の敷物団地にて別注カーペット製品のご紹介・打ち合わせなども行っております。

またカーペット製造工場の見学も行っております。

設計・デザイナー・コーディネーター・インテリア業界の皆さまは もちろんカーペット（敷物）に関心を持っている
企業・団体・教育機関・専門職の方は どうぞお気軽にお問合せ下さい。



お問い合わせフォームは
こちらから